

笑心の郷 だより

令和元年 10月号

〒707-0421
美作市川上 30-1
多機能型介護ホームえーる
TEL 78-0555
多機能型介護ホームはーと
TEL 78-0558
デイサービスセンターどりーむ
TEL 78-0557

基本理念：あなたの笑顔と夢を わたしの笑顔と夢で 心を込めて応援します

はーと

9月25日と27日、はーとでは日頃の感謝と利用者様のご多幸を願い、敬老会をさせていただきました。懐かしい歌をうたった後は肩たたきの歌に合わせて職員が肩をたたいて回ります。くすぐったかったり、少し恥ずかしかったり、どなたも笑顔でほっこりしたひと時でした。その後昭和30年クイズに挑戦です。映像に写し出された当時の道具や出来事などを当てるゲームです。懐かしい思い出が次々と蘇ります。そして今年の敬老会のために準備した職員による寸劇「遠山の金さん」です。絵にかいたような悪者が娘を売り飛ばすため川上にやってきて、金さんと戦いになりますが、ケンカの弱い金さんは1人じゃ勝てませんが、そこで利用者の皆さんにも参加していただき、みんなで悪者に玉をぶつけてやっつけました。



練習時間も取れず職員をつたない寸劇でしたが、大変喜んで、大いに笑って下さって何よりだったと思います。



えーるでは日頃の感謝の気持ちを込めて九月二十五・二十六日と二日間にわたり、敬老会を行いました。まずえーる劇団による「かくや姫」です。会場は笑いに包まれ、和気あいあいとした雰囲気。その後、紅白鯛焼きが配られると「なんじゃこれは。美味しいなあ。」という声があちこちから聞こえ、皆さんのとびきりの笑顔を見る事ができ、とても嬉しくなりました。最後は記念品とともに職員が作成した愛情いっぱい感謝状を贈らせて頂き、お一人お一人と記念写真を撮りました。激動の時代を生きてこられた利用者の皆さんからたくさん学んで、次世代へと受け継いでいきたいと思っております。これからもお元気でえーるへお越しください。職員一同お待ちしております。



どりーむ

9月16、19日の2日間、どりーむで敬老会を行いました。皆さんが来所された時に紅白の幕に圧倒され「今日は何があるの?」と不思議そうに

尋ねられていました。午後の体操をした後で敬老会の開始です。まず最初に「箱の中身は何でしょう?」箱の中に利用者の皆さんに分からないように品物を入れておき、触って箱の中に入っている品物を当てて頂くゲームです。箱に入れる物は、タワシ、スライム、カツラ、カボチャ、ゴーヤ、トカゲのおもちゃ、



人の手(笑)など職員もどうしたらビックリして楽しんで頂けるか考えましたが、皆さんが冷静でこちらの思惑通りとはいきませんでした。次に「傘踊り」です。私達職員も敬老会でお披露目できるようにと練習してきた踊りです。きらびやかな傘の動きに感動され喜ばれていました。その後で利用者の皆さんを囲んで「幼なじみ」のダンスを一緒に行い、楽しまれていました。そして敬老のお祝いにささやかですが、どりーむより記念の品物を贈り、笑顔で記念撮影を行いました。



九月二十日の午後から利用者の皆さんと一緒にさつま芋の収穫をしました。このさつま芋は春に利用者の皆さんに植え付けをして頂いた物です。皆さんさつま芋畑を見て「芋堀はいつからしてないかなあ。」「赤いのが見えとるな。」と皆さんの気持ちがソワソワしているのが見て感じられ、とても嬉しそうでした。横一列に並び芋堀開始です。皆さん無我夢中に掘られ、大きな芋が掘れると子供のようになんとも言えない満足そうな笑顔でした。今年は大収穫で、収穫したさつま芋でおやつ作りを計画して、美味しく食べていただきます。

今月のお食事

今月のメニューは、敬老の日をお祝いの献立です。赤飯、筑前煮、茶わん蒸し、レタスの酢味噌和えなどです。皆さん赤飯が「とても美味しかった」と言っていました。

